式辞

養正が丘に春の訪れが感じられる今日、愛媛県知事 中村 時広 様代理　東予教育事務所 次長 堀江 弘之 様、愛媛県議会議員 塩出 崇 様 をはじめ、御来賓の皆様の御臨席を賜り、令和元年度 愛媛県立小松高等学校 卒業証書授与式を挙行できますこと、心から感謝申し上げます。

本校卒業５０年に当たる同窓生の皆様にも御出席をいただき、卒業生の門出に温かく花を添えていただきますこと、誠にありがとうございます。

また、保護者の皆様、本日はおめでとうございます。お子様の成長した姿に、さまざまな思いがこみ上げてきていることと思います。これまで本校にお寄せくださいました深い御理解・御協力に対しまして、教職員を代表して厚くお礼申し上げます。

さて、ただ今卒業証書を授与した１３３名の皆さん、卒業おめでとう。３年間を振り返ってみて、今どのような気持ちでしょうか。皆とともに笑い汗した日々、時には意見が衝突し、涙したこともあったと思います。自分の進路について、真剣に悩んだこと。集大成として参加した高校総体や高文祭、夏の高校野球大会。グループリーダーとして１・２年生をまとめた体育大会や小松高祭。緊張して臨んだ就職試験や入学試験。友達や家族、先生など周りの人の力も借りながら、一つ一つ山を乗りこえ成長してきた三年間だったと思います。

明日からはそれぞれが選んだ道を進むことになりますが、皆さんの門出を祝し、これからの時代を創る皆さんに大切にして欲しいことを、私から餞の言葉として伝えます。

それは「寛容さと謙虚さ」ということです。私たちは、自分の立場を守るためつい他人の失敗や過ちを一方的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自己本位に陥りやすい弱さをもっています。特に、ネットの世界において顕著に思われます。しかし、人の考えや意見は多様であり、豊かな社会を創るためには多様さを認め、互いに尊重しつつ理解しあっていくことが必要です。そして、自分と異なる意見や立場を認めるには寛容さが必要だと思います。寛大な心をもって他人の過ちを許すことができるのは、自分も過ちを犯すことがあるからと自覚しているからであり、謙虚であるからこそ他人に対して寛容になれるのです。このように、寛容さと謙虚さが一体のものとなったときに、広い心が生まれ、それは人間関係を潤滑にするものとなります。相手から学ぶ姿勢を常にもち、自分と異なる意見や立場を受けとめ、広い心で相手の過ちを許す心情や態度は、多様な人間が共によりよく生き、創造的で建設的な社会を創っていくために必要な資質・能力であると思います。グローバル社会に生きる皆さん、「寛容さと謙虚さ」を常に心に留めておいてください。

我々を取り巻く社会は予測の難しい時代であり、これから先、いつ、どんな転機が訪れるか分かりません。しかし、皆さんが、校訓「篤敬・勉学・鍛錬」を胸に、校是「積微力行」してきたことは、これからも心の糧として支え続けてくれるはずです。卒業する皆さんがそれぞれの新たな世界で、たくましく、しなやかに、輝いて生きていってくれることを心から願います。

結びに、本日御臨席の皆様の御多幸を御祈念申し上げますとともに、卒業生並びに在校生に対して引き続き温かい御支援をお願い申し上げ、式辞といたします。

令和２年３月１日

愛媛県立小松高等学校長　　森岡淳二